DENSO

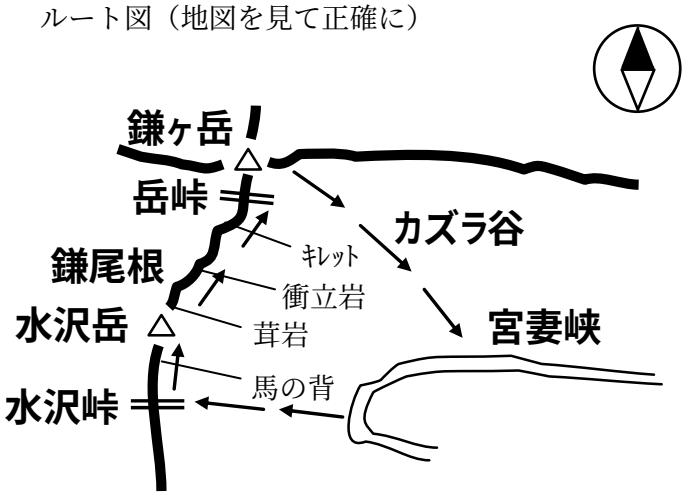
11月度 例会 個人 山 行 報 告 書

報告者	大矢康裕	参 加 メンバー	CL:大矢康裕、浩貴
報告日	12／13		

山 域	鈴鹿	山行日	06 年 11 月 18 日 (土) ～ **年 **月**日 (*)
山 名	鎌ヶ岳		
山行目的	山歩きに慣れる		

配布先
集会:12
山行: 1 ﾘｰﾀﾞｰ
原 紙 : 集会担当者

ルート図（地図を見て正確に）



2.5 万分の１地図： 伊船

コースタイム（天候：天気図記号）

11/18 晴⇒曇
7:35 自宅発
8:40 宮妻峡
8:55 発
9:50 水沢岳分岐
10:00 発
10:55 水沢峠
11:05 発
11:25 水沢岳
11:35 茸岩
11:55 衝立岩手前
12:05 発
12:50 岳峠手前
13:00 発
13:20 岳峠
13:35 鎌ヶ岳
14:25 カズラ谷分岐
14:40 一本
15:00 発
15:55 宮妻峡着
19:00 自宅着

〈山行報告〉山デビューした長男と登る今年最後の山として、鈴鹿の鎌ヶ岳、それも鈴鹿の縦走路としては一級品のルートである鎌尾根を選んだ。宮妻ヒュッテから少し登ったところにある駐車場に車を止めて、林道を歩き出す。紅葉には少し早く、まだ緑色を残しているカエデの道を行くと、水沢峠への分岐の標識が現れ、ここから登山道に入る。入道岳中腹は紅葉真っ盛りできれいだ。分岐から１ピッチで水沢峠に着く。水沢岳の登りで、早速、両側が切れた『馬の背』というザレ場が現れ、慎重に四つん這いで通過する。切れているのは、ほんの数mで下の方に樹林があるのだが、花崗岩がもろく、落ちたら簡単に戻れそうにないので、安全第一とした。生意気言う長男も、さすがにびびったようで、弱気になるのを励ます。水沢岳を越えた後、次の難所が待っていた。通称『茸岩』の下りが、また面白い。まるで茸のような奇岩の間につけられた、急斜面のザレ場の踏跡をはずさないように忠実に辿って下る。これが、鎌尾根のルートの一番の難所である（無雪期）。自分だけなら、さっさと通過するところだが、初心者を誘導するため、要所要所で立ち止まって、細心の注意でステップの指示をする。しばらくは普通の縦走路が続き、段々、衝立岩と鎌ヶ岳が近づいてくる。衝立岩は、垂直にそそり立っており、一体どこから登るのかと思っていたら、一旦、左側（滋賀県側）を巻きながら下ってから稜線に登っていく。特に問題なく衝立岩を通過して

いよいよ鎌ヶ岳の三角錐が大きく迫る。所々、片側が崩壊している悪場を過ぎて、岳峠に向かう下りが最後の難所のキレット。右側をトラバースする鎖場とザレ場の下りを経て、ようやく岳峠に着く。ヤレヤレ一安心だ。ここからは、鎌ヶ岳の正面の岩壁を巻いて右側のルンゼにつけられているルートを登り、ほどなく鎌ヶ岳頂上へ。よくやったと、長男と喜び合う。下りは、カズラ谷から。

〈リーダー所見〉 学生時代に、重いキスリングザックを担いで何度か縦走したルートであるが、初心者には少し手強い。安全第一として、無事下山できてよかったと思う。本人にとっても良い体験になったようだ。

茸岩の奇岩

確認（ﾘｰﾀﾞｰ） 大矢 06/11/22
作成（報告者） 大矢 06/11/22